

2020年5月22日

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 大泉、加藤

TEL | 078-325-2235 FAX | 078-325-2230 E-mail | info@kiito.jp



## With/Post コロナ社会のライフスタイルを考える、 オンラインゼミの参加者を募集します。

# KIITO:

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」では、創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。この取り組みの一環として、次のとおりゼミを開催いたしますので、ぜひご参加ください。

デザイン・クリエイティブセンター神戸にて、フィールドワークに重きを置く「文化人類学」の観点から「リサーチ」にフォーカスした「+クリエイティブゼミ」リサーチャー養成編を開講いたします。

KIITOでは、多様な立場や専門分野の人々と協働し、新しいアイデアや工夫を採り入れて社会課題を解決する方策を導き出す「+クリエイティブゼミ」を2012年より開催しています。これまでに、「まちづくり」「教育」「観光」「防災」「福祉」等のテーマで開催し、難病とたたかう子どもと家族のための専門医療施設「チャイルド・ケモ・ハウス」の活動を支援するチャリティイベント、デートの思い出を通して神戸の魅力を発信するプロジェクト「date.KOBE」など、ゼミから生まれた様々なアイデアが実現しています。社会課題をテーマに開講してきた本ゼミは、「リサーチ」とディスカッションを通じて課題に対するアクションプランを企画し、実践してきました。そのプロセスのなかでも「リサーチ」はとても重要なポイントです。本ゼミでは、昨年より、質の高い「リサーチ」を行うための知見や方法を体験的に学ぶ「リサーチ」をテーマにしたゼミを開講しています。

2回目の開催では、「With/Post コロナ社会のライフスタイルを考える」を例題に、リサーチ手法を活用し、考えるプロセスや情報との付き合い方を学んでいきます。

私たちのライフスタイルや価値観を変え、社会の仕組み自体も変化させる新型コロナウイルスとの共存とその後のPost コロナに関して、専門家・批評家・知識人はどのような発言をしているのか。文脈や背景などをリサーチしながら、コロナ禍を経験した私たちの生活はどこにむかうのかを参加者とともに考えます。

事業名称：+クリエイティブゼミ vol.34 リサーチャー養成編「リサーチ・リテラシーを学ぶ」

例題2「With/Post コロナ社会のライフスタイルを考える」(オンライン)

日時：2020年6月9日(火)、16日(火)、23日(火)、30日(火)、7月7日(火)、14日(火)(全6回)

各回 19:30~21:00

講師：山崎吾郎(大阪大学 CO デザインセンター 准教授)

永田宏和(デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長)

参加料金：無料 参加条件：インターネット環境があり、オンラインでの受講が可能な方

定員：20名(事前申込制、先着順)

申込み：2020年5月22日(金) 14:00 からウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付開始

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当 住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4

開館時間 | 9:00-21:00 入館料無料 休館日 | 月曜(祝日または振替休日の場合はその翌日) WEB | <http://kiito.jp/>

## 講師プロフィール

山崎 吾郎（やまざき ごろう）／大阪大学 CO デザインセンター 准教授（文化人類学）



1978 年生まれ。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学、博士（人間科学）。専門は文化人類学。主な仕事に『臓器移植の人類学：身体の贈与と情動の経済』（単著、世界思想社、2015 年）、『食人の形而上学：ポスト構造主義的人類学への道』（エドゥアルド・ヴィヴェイロス・デ・カストロ 著、共訳、洛北出版、2015 年）などがある。

永田 宏和（ながた ひろかず）／デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長



Photo by Yoshiaki Tsutsui

1968 年兵庫県生まれ。1993 年大阪大学大学院修了後、大手建設会社勤務を経て、2001 年「iop 都市文化創造研究所」を、2006 年「NPO 法人プラス・アーツ」設立。2012 年 8 月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）の副センター長を務める。主な仕事に「水都大阪 2009」、「イザ！カエルキャラバン！」（2005～）、「地震 EXPO」（2006）、「ちびっこうべ」（2012～）、「EARTH MANUAL PROJECT 展」（2013～）などがある。

+ クリエイティブゼミ vol.30 リサーチャー育成編「リサーチ・リテラシーを学ぶ」例題 1：「図書館の未来を考える」ゼミの様子

